

コンパクトでファッショナブルな本体に美しいカラー動画が楽しめる液晶画面

「ワンダースワンカラー」2000年12月に発売

ファイナルファンタジー、GUNPEY EXなど4タイトルを同時発売

株式会社バンダイ

所在地:東京都台東区駒形2—5—4

社長:高須武男 資本金:236億円

(株)バンダイは携帯ゲーム機「ワンダースワン」※(1999年3月発売)の上位機種となる「ワンダースワンカラー」(希望小売価格 6800円/税別)を12月9日より全国の玩具売場・ゲーム売場で販売します。

本体同時発売ソフトとしては、(株)スクウェアの「ファイナルファンタジー」、バンダイの「GUNPEY EX」、「ライムライダー・ケロリカン」、(株)ベックの「どこでもハムスター3」の4本の発売が予定されています(ファイナルファンタジーは本体発売記念の本体同梱版も発売予定)。今年12月末までにデジモンアドベンチャーなど合計10タイトルの対応ソフトが、2001年3月までにはガンダムなど32タイトルが発売される予定です。

当社では2001年3月までにワンダースワンカラー120万台を販売する計画で、従来のワンダースワンとあわせた累計出荷数は290万台(2001年3月時点)となる見込みです。

また、将来的には汎用メモリーカードなど記憶媒体への対応や、USBケーブル接続を活用し情報の送受信システムの構想も視野に入れていきます。

ワンダースワンカラー本体の特徴

- * 2.8インチの液晶画面で総色数4096色・同時発色241色の美しい動画を楽しむことができます。
- * ワンダースワンカラーでは今まで発売された全てのソフトを使用することができます(画面表示はモノクロ8階調となります)。
- * 本体機能拡張ツールの、スワンを通信端末として使用できる「モバイルワンダーゲート」(発売元:NTTドコモ)、プレイステーション2・プレイステーションと連動できる「ワンダーウェブ」、昆虫ロボットをプログラミングできる「ワンダーボーグ」、ソフト開発キット「ワンダーウィッチ」などは全て使用できます(モノクロ対応ソフトを使用する場合は画面はモノクロになります)。

* 周辺機器の専用ヘッドホンアダプタ、専用通信ケーブル、専用充電地などの周辺機器は全て使用できます。

* 現在販売しているワンダースワン同様、手のひらサイズ(74.3×128×24.3ミリ)、超軽量(95g)で10～20代の層を意識したファッションナブルなデザインです。単3電池1本で最大20時間の連続プレイが可能なほか、縦横両方向で使用することができます。

ワンダースワンカラー対応ソフトラインナップ

ソフト名(仮称)	ジャンル	発売時期	予価(税別)	発売元
GUNPEY EX	アクションパズル	12月9日	2980円 *	バンダイ
ライムライダー・ケロリカン	サウンドアクション	12月9日	3980円 *	バンダイ
ファイナルファンタジー	RPG	12月9日	4800円 *	スクウェア
ファイナルファンタジー本体同梱版	//	//	9999円 *	バンダイ
どこでもハムスター3	コミュニケーション	12月9日	3800円	ベック
そろばんぐ	パズル	12月	3980円	加賀テック
デジモンアドベンチャー 02 ディーワ ンタイマー	コレクション RPG	12月中旬	3980円	バンダイ
アナザヘヴン～memory of those days～	アドベンチャー	12月	4200円	オメガ・ミコ ット
プリンセスメーカーゆめみる妖精 for WonderSwanColor	育成シミュレーション	12月	4500円 *	バンダイビ ジュアル
仙界伝武～TV アニメーション仙 界封神演義より～	RPG	12月	4500円	バンダイ
TERRORS2	バトルシアター	12月	3980円 *	バンダイ
機動戦士ガンダム	アドベンチャー SLG	1月	4500円 *	バンダイ
ナムコ ワンダークラシック	スポーツ	1月	4500円	バンダイ
With you～みつめていたい	デジタルノベルアド ベンチャー	1月	4800円	シャルラク
ギルティギア	格闘アクション	1月	未定 *	サミー
キングブリーダー	RPG	1月	未定	サミー
FLASH恋人クン	アクションパズル	1月	3800円	光文社
ダークアイズ	シミュレーション	2月	4500円	バンダイ
宇宙戦艦ヤマト	シミュレーション	2月	4500円	バンダイ
SDガンダム英雄伝 武者編	アクションRPG	2月	3980円	バンダイ
SDガンダム英雄伝 ナイト編	アクションRPG	2月	3980円	バンダイ
ウィザードリー シナリオ1	RPG	3月	4500円	バンダイ
ポケットの中のドラえもん	コミュニケーション	3月	4500円	バンダイ

* 印はワンダースワンカラーでのみ使用可能なソフト

ワンダースワンカラーの流通体制について

流通面では従来機に続き玩具流通を(株)ハピネット、TVゲーム流通を(株)ビームエンタテインメントとハピネットグループで行います。

※ワンダースワンについて

1999年3月4日の発売以来、本体のコンパクトさ、ファッション性、ソフトラインナップの豊富さなどが支持され、これまでに累計155万台を出荷しています(対応ソフト～8月末105タイトル)。メインユーザーは10代の後半と、これまでに携帯ゲーム機に比べて年齢層が高いのも特徴の1つです。

ワンダースワンカラーの仕様



- <発売日> 2000年12月9日
- <価格> 6800円(税別)
- <サイズ> 74.3×128×24.3ミリ(単3電池使用時)
74.3×128×17.5ミリ(別売専用充電地使用時)
- <重さ> 95g(電池除く)
- <電源> 単3アルカリ乾電池×1本 または 別売専用充電地
- <CPU> 16bit(動作クロック3.072MHZ)
- <LCD> 反射型FSTN
224×144×RGB
総色数4096色 同時発色241色
画面サイズ2.8インチ
- <サウンド> デジタル音源4ch・ステレオ
- <カセット容量> ROM・FRASHROM:最大512Mbit
RAM:最大512Mbit
EEPROM:最大32Kbit

<本体カラー> クリスタルブルー、クリスタルブラック、クリスタルオレンジ
パールブルー、パールピンク

<その他> イヤホン・通信兼用端子搭載

使用可能拡張機器:

モバイルワンダーゲート

ワンダーウエーブ(1500円/税別)

ワンダーボーグ(12000円/税別)

ワンダーウィッチ(16800円/税別)

※この資料は2000年8月30日現在のものにつき、仕様等変更の可能性があり
ます。

報道関係者からの問い合わせ先
(株)バンダイ 広報チーム:田上、もしくは元洲まで
TEL:03-3847-5005 FAX:03-3847-5067
<http://www.swan.channel.or.jp/>